

会社概要（2024年4月1日現在）

会社名	株式会社ベネフィットジャパン
設立	1996年6月
資本金	656百万円
証券コード	3934
従業員数	327名
連結子会社	株式会社モバイル・プランニング 株式会社ライフスタイルウォーター
事業内容	インターネット通信サービス事業 ロボット事業 その他事業
事業所	本社・東京事業所・大阪事業所 鹿児島事業所

役員（2024年6月26日現在）

代表取締役社長	佐久間 寛
取締役副社長	北嶋 保宏
常務取締役	吉本 正人
取締役	松下 正則
取締役	長谷川 直文
取締役（社外）	鮑 俊
監査等委員（社外）	竹井 一茂
監査等委員（社外）	平野 恵稔
監査等委員（社外）	三嶋 政美

株式の状況（2024年3月31日現在）

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	5,988,848株
株主数	1,429名
大株主（上位10名）	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
佐久間 寛	1,334,187	22.65
有限会社サクマジャパン	1,296,000	22.00
株式会社エスアイエル	539,000	9.15
光通信株式会社	502,900	8.53
株式会社UHPartners2	502,900	8.53
株式会社UHPartners3	502,900	8.53
株式会社エヌオーアイ	447,100	7.59
吉岡 裕之	58,600	0.99
吉本 正人	54,762	0.92
佐久間 範子	45,000	0.76

※持株比率は自己株式（98,347株）を控除して計算しております。

株式会社ベネフィットジャパン <https://www.benefitjapan.co.jp/>

本 社	〒 541-0045	大阪府大阪市中央区道修町一丁目5-18 朝日生命道修町ビル2F	TEL 06-6223-9888	FAX 06-6223-9827
東 京 事 業 所	〒 104-0061	東京都中央区銀座6丁目18-2 野村不動産銀座ビル10F	TEL 03-5745-6701	FAX 03-5745-6702
大 阪 事 業 所	〒 530-0001	大阪府大阪市北区梅田一丁目8-17 大阪第一生命ビル11F	TEL 06-6458-8787	FAX 06-6458-8755
鹿 児 島 事 業 所	〒 892-0828	鹿児島県鹿児島市金生町7-8 フージャース鹿児島金生町ビル6F	TEL 099-813-7271	FAX 099-813-7271

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	弊社の公告方法は、電子公告としており、弊社ホームページに掲載しております。 https://www.benefitjapan.co.jp/ 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

I Rサイトのご紹介

弊社はインターネット上で、株主・投資家さま向けのI R情報から弊社グループの事業内容や最新情報について、さまざまな情報を掲載しております。ぜひ弊社のホームページをご覧ください。



<https://www.benefitjapan.co.jp/>

ロボットプラネット オフィシャルサイト



「新しい家族に出会えるお店」をコンセプトにしたロボットショップ Robot Planet オープン
顧客が「新しい家族」に出会う体験機会を創出



<https://www.robotplanet.site/>

第28期年次報告書

2023年4月1日▶2024年3月31日

Top Message

Benefit of Technology to All People!

すべての人々にテクノロジーの恩恵を

株式会社ベネフィットジャパン

代表取締役社長

Hiroshi Satuma

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。私たちは「すべての人々にテクノロジーの恩恵を」というビジョンのもと、仮想移動体通信事業者として、多様な通信サービスを多岐にわたるルートで提供しています。インターネット通信は人々の暮らしにとって必要不可欠な社会インフラとなっています。インターネットにアクセスして情報を取り、その先に暮らしがあるという中で、我々は大手キャリアさまが対応しにくい、きめ細かく対応するインターネット通信サービスを提供し、より多くのお客さまに最適なサービスを提供することを心掛けています。この通信事業の安定成長を軸に、新たなテクノロジーの価値を届けていきたいということで、現在はロボット事業にも注力しています。ロボット事業においては、最高の顧客体験価値を創出するロボットプラットフォームを我々は目指しています。

当連結会計年度におけるわが国経済は、原材料価格の高騰、円安の影響など依然として先行き不透明な状況が続いています。このような状況の中、当社グループ売上高は、新規獲得件数が増加したこと及び契約回線数が前年同期末比2.5%増加したこと等で過去最高の売上高となりました。経常利益は、ロボット事業の人員及び販売コストの適正化を行いましたが、インターネット通信サービス事業での新サービス及び販路拡大への先行投資を行い減益となりました。その結果、当連結会計年度の経営成績は売上高13,065,995千円（前年同期比

BUSINESS REPORT

証券コード3934
BENEFIT JAPAN Co.,LTD.
www.benefitjapan.co.jp



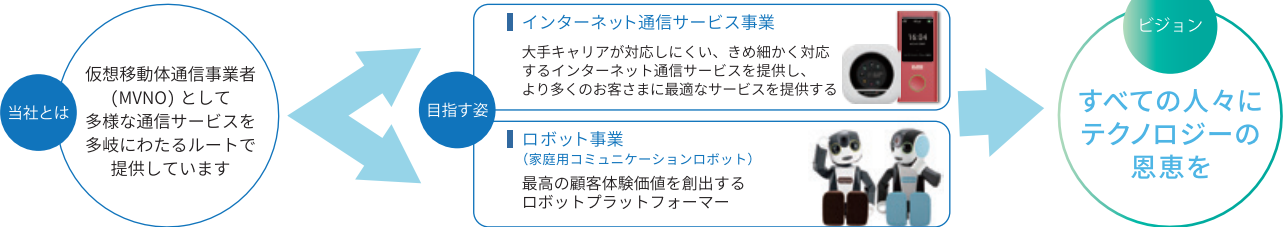
笑顔でつなぐ、
みんなの未来
BENEFIT JAPAN

4.1%増）、営業利益887,265千円（同13.3%減）、経常利益900,329千円（同11.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益734,896千円（同31.1%増）となりました。

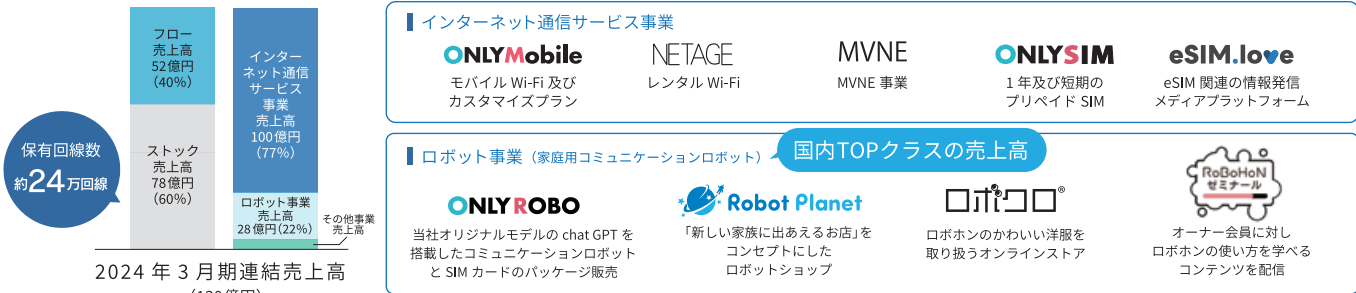
今後の見通しにつきましては、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰、円安の進行等、依然として先行き不透明な状況が続いております。こうした状況の中、当社グループは中期経営方針である「新たな成長に向け、点モデルから面モデルへの転換」を引き続き方針として事業拡大を目指していきます。インターネット通信サービス事業については、コミュニケーションセールスによるモバイルWi-Fiの販売は生産効率の低下、コスト増等の要因により規模を縮小していく方向であります。パートナー販路については引き続き強化していき、また、インバウンド需要が増加している状況の中、プリペイドSIMやレンタルWi-Fiなどの商品、サービスで家電量販店などの大手販路を面として抑え、需要増に対応した安定的なフロービジネスを強化していきます。ロボット事業については、AIチャットボットの普及などにより自然なコミュニケーション手段が確立されることでコミュニケーションロボット市場は徐々に拡大することが予測されており、ウェブ広告、テレビCMやオーナー会の実施などで認知度と顧客満足度の向上を図るとともに、販売の効率化やブランディングを強化し引き続きロボットプラットフォームを目指していきます。

Business Report 2024

■ ビジョン 通信事業（MVNO）の安定成長を軸に新たなテクノロジーの価値を届ける



■ 事業紹介 安定的なストック売上高を強みに、多様な通信サービスを多岐にわたるルートで提供



■ 決算トピックス

2024年3月期決算ハイライト

【全社】

- 売上高は、過去最高13,065百万円（前年同期比+4.1%）
- 契約回線数は、過去最高241,700回線（前年同期末比+2.5%）
- 経常利益は、900百万円（前年同期比△11.7%）

【インターネット通信サービス事業】

- 売上高は、10,011百万円（前年同期比+4.0%）
- 契約回線数は、214,100回線（前年同期末比+0.5%）
- 営業利益は、成長分野への先行投資で1,421百万円（前年同期比△31.3%）

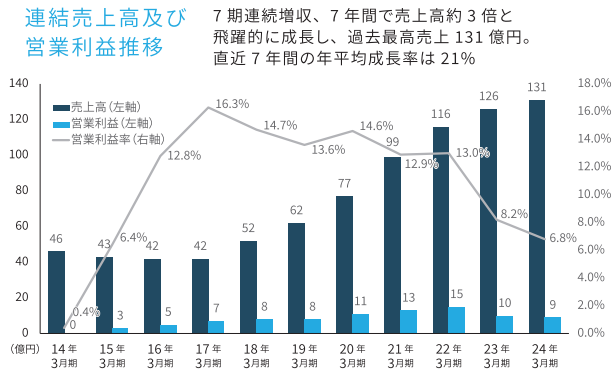
【ロボット事業】

- 売上高は、2,824百万円（前年同期比+5.7%）
- 契約回線数は、27,600回線（前年同期末比+20.3%）
- 営業利益は、大幅改善△126百万円（前年同期△668百万円）

連結損益計算書

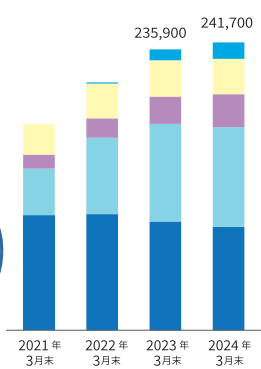
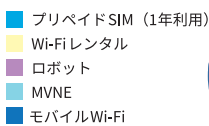
	23年3月期		24年3月期		前年同期比増減率		前年同期比増減額		業績予想 (2024年2月発表)
	金額	構成比	金額	構成比					
売上高	12,557	100.0%	13,065	100.0%	+4.1%	+509	13,000		
売上原価	5,720	45.6%	5,710	43.7%	△0.2%	△10	—		
売上総利益	6,836	54.4%	7,355	56.3%	+7.6%	+519	—		
販管費	5,812	46.3%	6,468	49.5%	+11.3%	+655	—		
営業利益	1,023	8.2%	887	6.8%	△13.3%	△137	860		
経常利益	1,019	8.1%	900	6.9%	△11.7%	△119	860		
親会社株主に帰属する当期純利益	560	4.5%	734	5.6%	+31.1%	+174	700		

連結売上高及び営業利益推移



契約回線数の推移

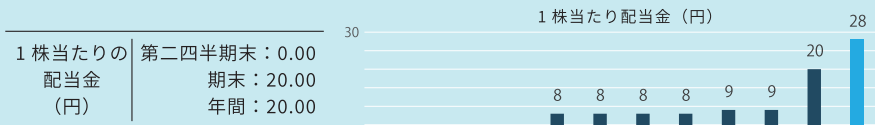
回線数は、241,700回線（前年同期末比+2.5%）
ロボットは、27,600回線（前年同期末比+20.3%）
プリペイド SIM（1年利用）は、27,400回線（前年同期末比+184.1%）



■ 株主還元について

【配当の実施】

当社は、配当におきまして利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を前提とし、2026年3月期までに配当性向30%への順次引き上げを目指しています。
上記方針及び、通期の業績予想を踏まえ、2024年3月期の配当は、2023年3月期比で11円引き上げ20円とします。2025年3月期の配当は、2024年3月期比で8円引き上げ28円を予想。



【自己株式取得】

2023年6月7日に開示したとおり、機動的な資本政策の遂行による資本効率の向上を通じ、株主の皆さまへの利益還元を図るために取得する株式の総数100,000株、取得価額の総額125,000,000円を上限とし自己株式の取得しました。なおこの件に関して取得満了しています。

【株主優待について】

下記4つ全ての優待品を贈呈いたします。

商品券
QUO カード

500 円分

ロボホン購入
割引クーポン

36,000円相当

通信サービス
月額割引クーポン

15,600 円相当

おいしいお水
割引クーポン

9,600 円相当



詳しくはこちらのQRコードからご覧ください
※QRコード®は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

■ 中期経営方針

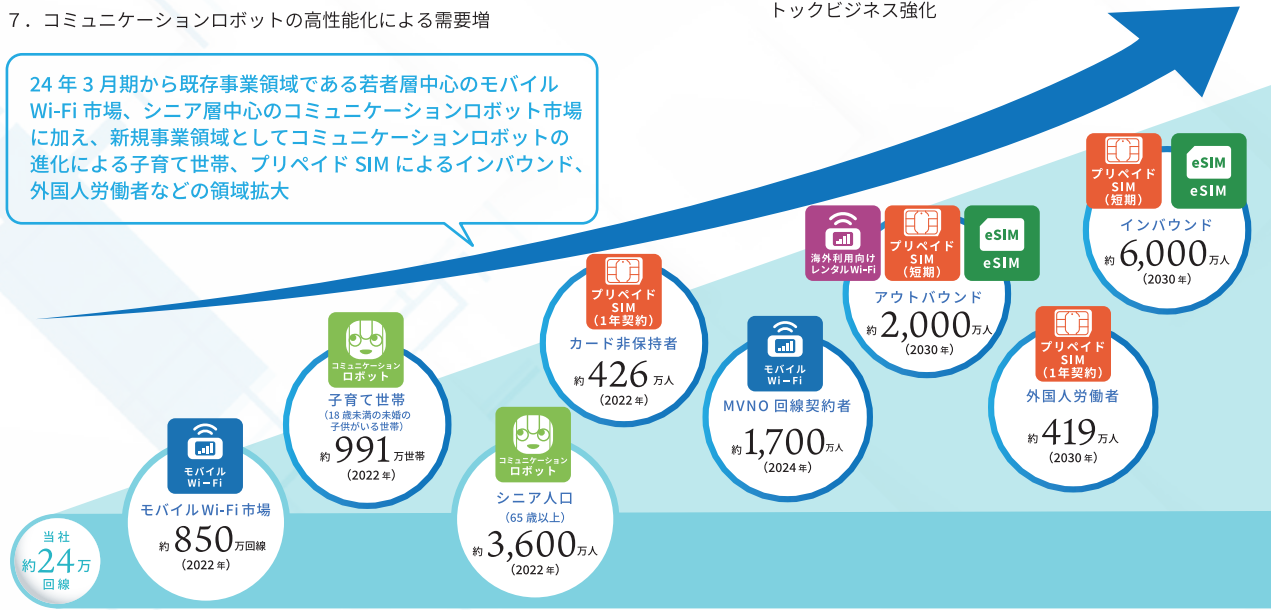
当社の強み

これまでの事業で培ったコミュニケーションセールスでの販売力、大手商業施設、大手量販店などの販路、長年の販売実績に基づく安定的で価格競争力のある仕入れ、24万回線を超える契約回線数に裏打ちされた信用力など

中期経営方針の背景

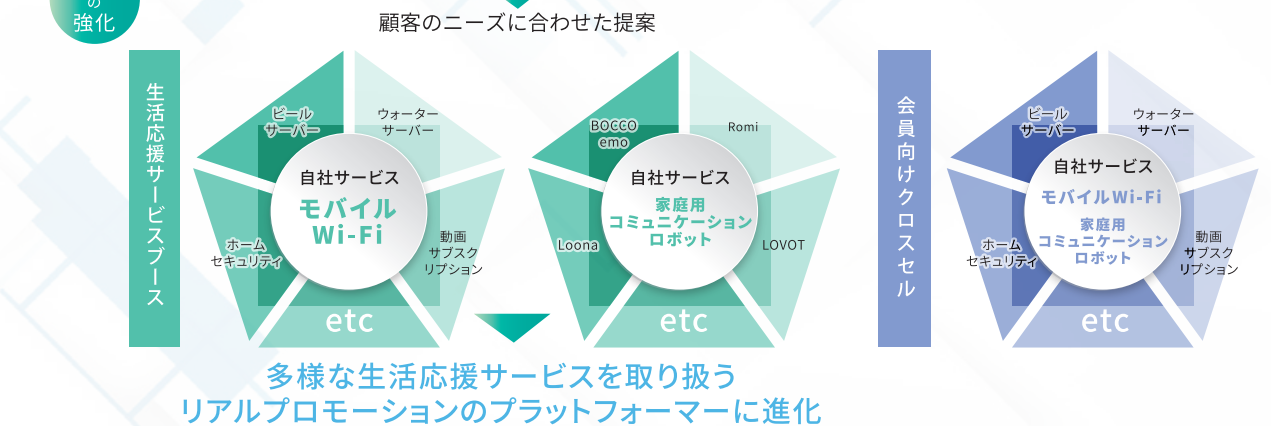
- 外国人旅行者の増加（年間想定 6,000 万人）に伴うインターネット通信需要増
- 日本人海外旅行者回復（年間 2,000 万人）に伴うインターネット通信需要増
- 労働力不足を補うための外国人労働者（年間 419 万人）増加に伴うインターネット通信需要増
- コロナ失業などに伴うカード非保持者増加に伴うプリペイド SIM 需要増
- 消費財や公共料金の値上げに伴う通信料節約需要増及び通信量不足需要増
- インバウンド、アウトバウンド増加と eSIM 対応端末増に伴う需要増
- コミュニケーションロボットの高性能化による需要増

24年3月期から既存事業領域である若者層中心のモバイル Wi-Fi 市場、シニア層中心のコミュニケーションロボット市場に加え、新規事業領域としてコミュニケーションロボットの進化による子育て世帯、プリペイド SIM によるインバウンド、外国人労働者などの領域拡大



■ 2025年3月期の新たな取組み

併売力の強化 自社サービスによる利益最大化 >>> 複数サービスの組合せによる利益最大化



■ 2025年3月期の見通し

連結損益計算書

採算の合わない販路を規模縮小するものの、必要な投資を行い、売上高は12,503百万円（前年同期比△4.3%）、営業利益は1,085百万円（前年同期比+22.4%）の見通し

	24年3月期		25年3月期		前年同期比増減率	前年同期比増減額
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	13,065	100.0%	12,503	100.0%	△4.3%	△562
売上原価	5,710	43.7%	5,276	42.2%	△7.6%	△434
売上総利益	7,355	56.3%	7,227	57.8%	△1.7%	△128
販管費	6,468	49.5%	6,142	49.1%	△5.1%	△326
営業利益	887	6.8%	1,085	8.7%	+22.4%	+198
経常利益	900	6.9%	1,090	8.7%	+21.1%	+190
親会社株主に帰属する当期純利益	734	5.6%	725	5.8%	△1.1%	△9

セグメント別業績

インターネット通信サービス事業については、引き続きパートナー販路を強化しますが、コミュニケーションセールスによるモバイル Wi-Fi の販売は生産効率の低下などの要因により規模を縮小し、減収増益。ロボット事業は堅調に推移し増収増益見込み

	24年3月期	25年3月期	前年同期比増減率	前年同期比増減額
売上高	13,065	12,503	△4.3%	△562
インターネット通信サービス	10,011	9,237	△7.7%	△774
ロボット	2,824	3,047	+7.9%	+223
その他	229	231	+1.0%	+2
営業利益	887	1,086	+22.4%	+199
インターネット通信サービス	1,421	1,710	+20.3%	+289
ロボット	△126	△92	—	+34
その他	52	23	△56.7%	△29
全社費用	△460	△542	△17.9%	△82